

小学校国語科 渡島教育研究所（北斗市立浜分小学校）
キーワード ひとりひとりが主体的に読み取る、物語の世界

単元名
表現の効果について、考えを広げよう
「雪わたり」
第5学年

1 単元の目標

表現の工夫とその効果に着目して物語を読み、その魅力について伝え合うことを通して、自分の考えを広げる。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 比喻や反復などの表現の工夫に気付いている。	① 「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の工夫を考えたりしている。 ② 「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。 ③ 「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。	① 進んで表現の工夫や登場人物の関わりを読み、学習の見通しをもって『雪わたり』の魅力を紹介する文章を書こうとしている。

3 指導と評価の計画（全8時間）

時間	学習活動	評価規準（評価方法）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	○ 単元扉を読んで、学習の見通しをもつ。 ○ 本文を読み、心に残ったところを交流したり、登場人物を確かめたりする。 			①学習の見通しをもち、表現の工夫を見付けようとしている。（ノート）
2	○ 登場人物の会話や行動をもとに、どんな人物かを考える。   		①中心人物の変容について人物像から読み取り、具体的に想像している。（ワークシート）	○ A 子どもが「自分たちで学び取る」授業 ・追究の手段は個々に任せ（一人で、友達と、辞典を引く、インターネットで調べる等）、自分にとって最適な手段を考える活動を一年を通して各教科で行った。本単元では主に2・3・4時間目が該当するが、他の時間にも必要に応じて自ら調べたり友達に相談したりする姿が見られた。
3	○ できことを確認する。 ○ 物語の最初と最後では何が変わったかを考え、話し合う。   		①物語の設定やできごとについて叙述から読み取っている。（ワークシート）	
4 本時	○ おもしろいと思う表現の工夫を探す。  	①表現の工夫に気付いている。（教科書）		
5	○ 表現の工夫や効果について、考えたことを紹介し合う。  		①表現の工夫やその効果について考えている。（ノート） ②表現の工夫やその効果について、友達との交流を通して考えを広げている。（ノート）	
6	○ 表現の工夫に着目して、『雪わたり』の魅力を紹介する文章を書く。  	①表現の工夫に気付いている。（ワークシート）	③目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを	

			明確にしている。(ワークシート)	
7	○ 紹介文を読み合い、感想を伝え合う。		②表現の工夫やその効果について、友達との交流を通して考えを広げている。(ワークシート)	
8	○ 学習を振り返る。		①学習を振り返り、表現の効果について考えている。(振り返りシート)	①見通しをもって学習に取り組み、『雪わたり』の魅力を紹介しようとしたかを考えようとしている。(振り返りシート)

4 本時案 (4/8)

(1) 本時の目標

『雪わたり』に使われている表現の工夫を探す。

○ B 子どもの「興味・関心」や「問い」を大事にした授業
・本時までの3時間で児童が読み取った「おもしろい表現」を都度取り上げ、意識できるような声掛けを行った。

(2) 本時の展開

時	○学習活動 ・児童の反応	◇留意点 ☆評価
導入 13分	○ 「リズムのある表現」「たとえを使った情景びょうしゃ」が『雪わたり』の魅力のひとつであることを確認する。 おもしろい表現のくふう「リズムのある表現」「たとえを使った情景びょうしゃ」を見つけよう。 ・大理石よりもかたくなり ・かた雪かんこ、しみ雪しんこ 	◇P65「ここが大事」から、五音・七音のリズムの良さと、何が何にたとえられているかを読み取ることで、情景を思い浮かべられることを示唆する。 ◇「おもしろい」という言葉の捉え方を確認する。
展開 30分	○ 「リズムのある表現」「たとえを使った情景びょうしゃ」に線を引く。可能な範囲で、「リズム」と「たとえ」で分けておく。 ・リズムのある表現は波線にしよう。 ・赤と青で色分けしておこう。  自分で読んで見つける。  友達と一緒に見つける。 ○ 一番好きな表現を、「リズム」「たとえ」からひとつ選び、班ごとに紹介し合う。 (※必要に応じて) 	◇「もくもくタイム」を確認し、個別でじっくり読む時間を意識させる。 ◇見つけきったら必ず3人以上と交流することを確認しておく。 ☆表現の工夫に気づき、探すことができる。【知技／教科書】 ◇児童の様子を観察し、個人内での活動停滞が見取れた場合には交流の場を設定する。
終末 2分	○ 今日の学習を振り返る。 ・いろいろなたとえの表現があった。 ・友達の考えもメモすることができた。 ・キックキックトントンが、繰り返し出てきた。 	◇次回の学習計画を確認する。

5 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に係る授業改善のポイント

－ひとりひとりが主体的に読み取る、物語の世界－

- 単元計画（単元の終わりに目指す姿、その時間ごとの学習内容や評価規準・基準）を児童と共有して毎時間振り返りを行い、ひとりひとりが学習を自己調整する環境を整える。
- 課題を追求する方法は個々に委ね、他者の意見に触れる時間が最終的にゼロにならないよう配慮する。※もくもくタイム

○ C 子どもが安心して、進んで取り組める授業
・「友達と協働したい」だけでなく、「一人でじっくり考えたい」児童の学びを保障する。
・「開始から3分は1人で思考錯誤（※もくもくタイム）→その後は席移動や話し合い等の協働は自由だが、名札を机の上に置いた子には話しかけない」ルールを設けた。

④ 表現の効果について、考えを広げよう。

【この学習で目指す姿】

- 「リズムのある表現」・「たとえを使った情景びょうしゃ」などの表現のくふうに気づくことができる。【知技🔦】
- 表現のくふうに目をつけて材料を集め、『雪わたり』のみりよくをしようかいする文章を書くことができる。【書く✍️／思判表】
- 登場人物や物語の全体を想像したり、表現のくふうについて考えたりしながら読むことができる。【読む📖／思判表】
- 見通しをもちすすんで表現のくふうや登場人物の関わりを考えながら読み、『雪わたり』のみりよくについて書き表そうとしている。【態度😊】

時	学習目標	自己評価 ◎○△				ふり返し 家に帰って「今日の学習で何が分かったの(できたの)?」 と聞かれたら、なんて説明しますか?
		💡	✍️	📖	😊	
1	・学習全体の見通しをもつ。 ・『雪わたり』を読んで登場人物 を確かめ、感想を交流する。					
2	主な登場人物の会話や行動 を根拠にして、どんな人物かを 考える。					
3	主なできごとを確認し、物語の 最初と最後で何が変わったかを 考える。					
4	「たとえを使った情景びょうしゃ」「リズムのある表現」に気づき、見つける。					
5	表現のくふうや、それによる効果について、考えたことを紹介する。					
6	表現のくふうに目をつけて、『雪わたり』のみりよくを紹介する文章を書く。					
7	紹介文を読み合い、『雪わたり』のみりよくが伝わるかを考え、感想を伝え合う。					
8	【この学習で目指す姿】が達成できたかをふり返る。(プレテスト)					

ふり返し この学習でできたこと、分かったこと、どうして分かり、できるようになったのか。できなかったことがある人は、何が原因で、次はどうしていきたいか。

学習感想 ※ここに書いたことは、成せきには関係ありません。この学習について思ったこと、先生への要望、ぐち、……なんでも自由にどうぞ。